

科目名	自動車の整備(工学編)						
科目名(英)	Car maintenance						
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	永江 貴史		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	自動車の基本性能である「走る」「曲がる」「止まる」に関する理論を学び、その性能理論に基づく主要装置の設計・評価の方法の要点を理解する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自動車の性能や諸元について説明することができるようになる。	
	○					自動車の構造について説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	社団法人 日本自動車整備振興会連合会 「基礎自動車工学」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~8	自動車の概要一定義、歴史、分類				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9~16	自動車の構造—構成、原理				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17~24	ガソリンエンジン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	25~32	ディーゼルエンジン				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	33~40	動力伝達装置				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	41~48	アクスル及びサスペンション				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	49~56	ステアリング装置				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	57~64	ホイール及びタイヤ・ホイールアライメント				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	65~72	ブレーキ装置				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	73~80	フレーム及びボデー・灯火装置・計器・安全装置				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	81~88	自動車の材料				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	89~96	自動車の機械要素				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	97~104	燃料及び潤滑油				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
105~112	基礎的な原理・法則				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
113~120	自動車の諸元				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)出席率及び授業態度も評価対象とする。(私語、居眠りは評価点から減点する) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					80%
出席率、授業態度				○		20%	
履修上の注意							

科目名	自動車の基礎(整備編)						
科目名(英)	Basic automotive engineering(Tools and maintenance equipment)						
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	西村 英功		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	自動車の整備作業は、自動車の安全に対する信頼性を回復、維持させることを目的としており、保安の確保と公害の防止に貢献している。この授業では整備の基礎知識を学び、基礎整備作業をしていく中で使用する様々な工具、整備設備の用途を理解し、構造・機能を知り、実際に整備工具・機器の正しい取り扱いが出来るように知識の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自動車整備の目的、安全作業の心得を理解し、作業時の安全確保に努めることが出来る。	
		○				整備するための工具、機器類の用途、構造・機能を理解し、正しい取り扱いが出来る。	
	○					自動車整備用語の理解を高め、整備士養成課程の教科書に対応できる語彙力を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	基礎自動車整備作業						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~6	整備の基礎知識について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7~45	基礎整備作業(基本作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	46~66	基礎整備作業(測定作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	67~85	基礎整備作業(エンジン点検作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	86~90	基礎整備作業(シャシ点検作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	91~94	基礎整備作業(充電作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	95~100	基礎整備作業(清掃・洗浄作業)			これまでの授業の総復習を行っておくこと		
	101~104	基礎整備作業(給油作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	105~109	基礎整備作業(昇降作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	110~112	基礎整備作業(エア・コンプレッサ)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
113~120	基礎整備作業(その他点検作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
評価方法	(1)小テストを2回実施する。(2)期末試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	○	○				60%
小テスト	○	○				40%	
履修上の注意							

科目名	キャリア教育						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	西村 英功		
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	自動車整備士として働く上で必要となる知識・教養を学び、接客対応の基本を理解し身に付ける。 また整備業界、関係業界も含め、幅広く知った中で、整備士という仕事の役割の理解を深め、社会人として働く意味、意義への理解を高める。						
授業形式	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		仕事をする社会人としての心得、心構えを身に付け、整備士としての働き方を表現できる。	
				○		整備士としての接客対応の基本を学び、礼儀挨拶を実践出来る。	
テキスト・教材 参考図書	自動車整備業従業員 新人講習テキスト（日本自動車整備商工組合連合会）						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1, 2	社会人としての心得(企業と個人、社会生活の中のきまり、職業人としての自覚)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3, 4	社会人としての心得(職業人としての自覚)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5, 6	働く上での心構え(人間関係)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7, 8	整備事業場の仕事(点検整備の実施、故障者の整備、環境、お客様の良い相談相手)サービス精神			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9, 10	接客対応の基本(身嗜み、礼儀作法、挨拶)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11, 12	接客対応の基本(会話のマナー、敬語)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13, 14	接客対応の基本(来客対応のマナー、名刺交換)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15, 16	接客対応の基本(電話対応)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17, 18	接客対応の基本(電子メール)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19, 20	整備業界とその関係業界(総整備売上高、生産性、労働条件、課題)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21, 22	整備業界とその関係業界(自動車整備業界の団体)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23, 24	整備業界とその関係業界(メーカー、ディーラー、)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25, 26	自動車とその関係制度(自動車の製造、検査・登録、整備)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	27, 28	自動車とその関係制度(自動車整備士の資格、技能登録試験、法律)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	29, 30	仕事と生きがい(働く喜び、仕事の誇り、良い趣味、自己啓発)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	出席状況・授業参加への積極性・意欲で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・授業態度				○		100%
履修上の注意							

科目名	文法・聴解Ⅱ(文法)				
科目名(英)					
単位数	4/6単位	時間数	60/90時間	担当者	小池 文子
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際自動車整備科1年				
授業概要	日本語能力試験N2レベルの文法項目を学びます。例文を参考にしながら、意味や接続の形などを学びます。 文を作ったり、文章を読んだりしながら、その文法がどのように使われているかを知ります。 文法を学ぶことで、N2レベルの会話を聞いたり、文章を読んだりするための基礎力を高めます。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標				
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	ABK(アジア学生文化協会) 著 『TRY! 日本語能力試験N2』 アスク出版 2013年				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	1章 1~4			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	2	1章 5~8			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	3	2章 9~13			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	4	2章 14~17			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	5	2章 18~21			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	6	3章 22~25			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	7	3章 26~29			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	8	4章 30~33			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	9	4章 34~36			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	10	5章 37~41			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	11	5章 42~47			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	12	6章 48~52			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	13	6章 53~56			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	14	6章 57~59			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	15	復習テスト			復習テストに向けて復習をしておいてください。(1時間)
	16	7章 60~63			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	17	7章 64~68			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	18	7章 69~72			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	19	8章 73~77			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	20	9章 78~82			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	21	9章 83~87			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	22	9章 88~91			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
23	10章 92~95			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)	

	24	10章 96～99	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	25	11章 100～106	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	26	12章 107～112	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	27	12章 113～118	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	28	13章 119～124	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	29	13章 125～131	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	30	14章 132～139	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
評価方法	(1)授業の中で復習テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 評価は【日本語 I C(聴解)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	復習テスト	○	○		○		50%
	定期試験	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	文法・聴解Ⅱ（聴解）						
科目名(英)							
単位数	2/6単位	時間数	30/90時間	担当者	小川 剛		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	JLPTの問題形式に合わせて、それぞれに必要なスキルを学ぶ。JLPTに即した問題で練習しながら、出題のパターンと解法をつかむ。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をすることが適当か理解できる。	
	○					事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。	
	○					テキスト全体から話者の意図や主張などが理解できる。	
	○					質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。	
	○					長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	氏原庸子 清島千春 佐伯玲子 著 『N2聴解必修パターン』 Jリサーチ出版 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎編1～7			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	2	課題理解1～4			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	3	課題理解5～9			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	4	課題理解10～13			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	5	ポイント理解14～16			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	6	ポイント理解17～20			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	7	概要理解21～24			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	8	概要理解25～28			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	9	即時応答29～37			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	10	即時応答38～46			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	11	統合理解47～49			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	12	統合理解50～52			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	13	模擬問題			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	14	模擬問題			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
15	確認テスト／フィードバック			学習した箇所を復習してください。(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 評価は【日本語IC(文法)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		○		○		50%
定期試験		○				50%	
履修上の注意	各自、音声教材をダウンロードし、予習復習ができる環境を作ってください。						

科目名	語彙・読解Ⅱ(語彙)					
科目名(英)						
単位数	4/6単位	時間数	60/90時間	担当者	高田 久美子・今村 真紀子	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年					
授業概要	能力試験N2合格を目標にN2レベルの語彙を理解し使うことができるようにする。語彙を増やし、読む・聴く・話すための基礎を養成する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				ひらがなで書かれたN2レベルの語を漢字で書くことができる。
	○	○				N2レベルの漢字で書かれた語を読むことができる。
	○	○				前後の文脈に合う語彙(N2レベル)を使うことができる。
	○	○				ある語や表現を意味的に近い他の語や表現に置き換えることができる。
テキスト・教材 参考図書	・佐々木仁子 松本紀子 著「日本語総まとめ N2 語彙」アスク出版 2010年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	総まとめN2語彙1週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	2	総まとめN2語彙1週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	3	総まとめN2語彙1週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	4	総まとめN2語彙1週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	5	総まとめN2語彙2週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	6	総まとめN2語彙2週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	7	総まとめN2語彙2週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	8	総まとめN2語彙2週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	9	総まとめN2語彙1週2週確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	10	総まとめN2語彙3週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	11	総まとめN2語彙3週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	12	総まとめN2語彙3週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	13	総まとめN2語彙3週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	14	総まとめN2語彙4週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	15	総まとめN2語彙4週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	16	総まとめN2語彙4週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	17	総まとめN2語彙4週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	18	総まとめN2語彙3週4週確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	19	N2能力試験対策			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	20	N2能力試験対策			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	21	N2能力試験対策			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
22	総まとめN2語彙5週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		

	23	総まとめN2語彙5週3日目4日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	24	総まとめN2語彙5週5日目6日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	25	総まとめN2語彙5週7日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	26	総まとめN2語彙6週1日目2日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	27	総まとめN2語彙6週3日目4日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	28	総まとめN2語彙6週5日目6日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	29	総まとめN2語彙6週7日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	30	総まとめN2語彙5週6週確認テスト	確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 評価は【日本語 I D(読解)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○		○		50%
	定期試験	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	語彙・読解Ⅱ(読解)						
科目名(英)							
単位数	2/6単位	時間数	30/90時間	担当者	笠 悦子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	「指示詞」「主語述語」「比喩」など読解のストラテジーをテーマごとに学習し、読解の基礎力を固める。その後、JLPTに即した様々な形式の問題で練習しながら、出題のパターンと解法をつかむ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				複雑な文や文章の構造が理解できるようになる。	
	○	○				500字程度の中文を読み、内容の事実関係や筆者の考えなどを読み取ることができる。	
	○	○				900字程度の長文を読み、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめる。	
	○	○				600字程度の複数の文章を読み比べて、比較したり統合したりしながら理解できる。	
	○	○				700字程度の広告やパンフレットを読んで、必要な情報を見つけることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・氏原庸子 清島千春 佐伯玲子 著 『N2読解必修パターン』 Jリサーチ出版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎編 第1章 短文・中文: 指示詞、事実関係			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	基礎編 第1章 短文・中文: 言葉の意味、話の展開			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	基礎編 第1章 短文・中文: 人物の気持ち、理由や根拠			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	4	基礎編 第1章 短文・中文: 全体の内容、筆者が言いたいこと			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	基礎編 第1章 短文・中文: 連絡文、情報検索			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	基礎編 第2章 長文A: 解説、論説			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	7	基礎編 第2章 長文B: エッセイ、小説、紀行文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	確認テスト / フィードバック			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	9	対策編 第1章 対策準備			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	10	対策編 第2章 実践練習(内容理解): 短文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	対策編 第2章 実践練習(内容理解): 中文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	対策編 第2章 実践練習(統合理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	13	対策編 第2章 実践練習(主張理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	対策編 第2章 実践練習(情報理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
15	復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)			
評価方法	(1) 授業の中で小テストを実施する。(2) 定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。評価は【日本語 I D(語彙)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○		○		50%
定期試験	○	○				50%	
履修上の注意							

科目名	ビジネス日本語Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小池 文子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	ビジネスシーンを具体的にとりあげ、各シーンにおける対応を紹介することで学習者の日本におけるビジネスへの理解を深める。また各シーンをロールプレイ練習することで、シーンにあった敬語表現や、ビジネスマナーの基本を身につけることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ビジネスシーンでの適切なことば・表現を使うことができる。	
		○				ビジネスシーンでの敬語表現・マナーに注意して、コミュニケーションをとることが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	宮崎道子 郷司幸子 著 『日本語で働く!ビジネス日本語30時間』 スリーエーネットワーク 2009年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	5課:頼む・断る①(目的・クイズ・表現・ことば・談話)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	2	5課:頼む・断る②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	3	5課:頼む・断る③(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	4	6課:許可をもらう①(目的・クイズ・表現・ことば・談話)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	5	6課:許可をもらう②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	6	6課:許可をもらう③(ロールプレイ)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	7	6課:許可をもらう④(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	8	7課:アポイントをとる①(目的・クイズ・表現・ことば・談話)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	9	7課:アポイントをとる②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	10	7課:アポイントをとる③(ロールプレイ)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	11	7課:アポイントをとる④(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	12	8課:訪問する①(目的・クイズ・表現・言葉)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	13	8課:訪問する②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	14	8課:訪問する③(ロールプレイ)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	15	8課:訪問する④(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中でのロールプレイの発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	ロールプレイ発表	○	○		○		100%
履修上の注意							

科目名	応用日本語Ⅱ					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	平間 正美	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年					
授業概要	JLPTと同様の形式の問題を数多く解いて、N2に合格できる力を養成します。読解と聴解の問題が中心ですが、他の授業で学習した語彙や文法がどのように使われているかにも注目して、学習を進めます。模擬試験を実施して、試験に慣れると同時に、自分の現在のレベルをチェックします。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				文章の構造や指示語が何を示しているか理解できる。
	○	○				一般的な話題について書かれた文章について大意を掴むことができる。
	○	○				一般的な話題に関する会話やモノローグを聞いて、話の流れや表現が理解できる。
テキスト・教材 参考図書	・星野恵子 辻和子 著 『ドリル&ドリル N2 聴解・読解』UNICOM 2010年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	【聴解】課題理解 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	2	【聴解】課題理解 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	3	【聴解】ポイント理解 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	4	【聴解】ポイント理解 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	5	【聴解】概要理解 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	6	【聴解】概要理解 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	7	【聴解】即時応答 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	8	【聴解】即時応答 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	9	【聴解】統合理解 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	10	【聴解】統合理解 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	11	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	12	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	13	【聴解】課題理解 第3回 / 【読解】 情報検索			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	14	【聴解】課題理解 第4回 / 【読解】 情報検索			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	15	【聴解】ポイント理解 第3回 / 【読解】 主張理解			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	16	【聴解】ポイント理解 第4回 / 【読解】 主張理解			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	17	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	18	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	19	【聴解】 概要理解 第3回 / 【読解】 主張理解			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	20	【聴解】 概要理解 第4回 / 【読解】 内容理解 中文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	21	【聴解】 即時応答 第3回 / 【読解】 内容理解 中文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
22	【聴解】 即時応答 第4回 / 【読解】 内容理解 中文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		

	23	【聴解】 統合理解 第3回 / 【読解】 内容理解 中文	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	24	【聴解】 統合理解 第4回 / 【読解】 統合理解	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	25	【聴解】課題理解 第5回 / 【読解】 統合理解	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	26	【聴解】ポイント理解 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	27	【聴解】 概要理解 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	28	【聴解】 即時応答 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	29	【聴解】 統合理解 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	30	【聴解】 復習 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
評価方法	(1) 授業の中で模擬試験を2回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○		○		100%
履修上の注意							